

<p>視点</p>	<p>1 親から子へつなぐ生命</p>
<p>施策の方向</p>	<p>1. 授乳・離乳期からの食育の推進 2. 保育所・幼稚園での食育の推進 3. バランスのとれた食生活からの健康づくり 4. 家庭における食育の推進</p>
<p>重点施策項目</p>	<p>1)嘔むことから始める乳幼児期からの食育の推進 2)保育所・幼稚園での食育の推進 3)県民一人ひとりの生涯にわたる健康づくり 4)家庭における食育の推進</p>
<p>主な事業</p>	<p>①「健康ちば協力店」推進事業 ②ライフステージに応じた適正な生活習慣の実践に関する取組(市町村事業) ③積極的な健康づくりに関する広報・啓発</p>
<p>主な事業の概要</p>	<p>①「健康ちば協力店」の登録数の拡大、普及啓発、HP及び栄養情報通信の作成 ②「H23生活習慣に関するアンケート調査」を実施中。 ③県民自らが健康づくりに取組む「健康県ちば宣言」の展開</p>
<p>成果</p>	<p>①「健康ちば協力店」の登録数の拡大、普及啓発及びHPへの掲載。推進協議会の開催(H24年2月)。事業の見直し。 ②市町村担当者及び学校栄養職員等を対象とした研修会の開催(H23年8月)。企業と連携したイベントの開催(H24年2月)。「H23生活習慣に関するアンケート調査」を実施中。 ③「健康県ちば宣言」では、県民自らが健康づくりに取り組むよう、各種イベントや県民向け及び小学生向けリーフレットの配布などによる普及啓発を行った。</p>
<p>課題・問題点</p>	<p>①登録店舗数の増加や健康づくりに取り組む飲食店等への支援を充実させていくことが必要。 ②親子(家庭)への正しい生活習慣・運動習慣の定着を図ることが必要。また、そのための情報提供や「ちば型食生活」等の普及啓発が必要。 ③県民自らが健康づくりに取り組むよう、引き続き広報・啓発を実施する必要がある。</p>
<p>今後の方針等</p>	<p>①新事業体制の周知と定着を図る。 ②今後も親子(家庭)への正しい生活習慣の定着を「しっかり運動、早ね、早起き、朝ごはん」をスローガンに継続した普及啓発を推進する。また、「H23生活習慣に関するアンケート調査」を実施中である。 ③指標については、庁内各部局が実施する施策の結果や社会情勢が影響してくると思われる。計画の進行管理を行うための指標としては、不適切だと思われる。</p>